

### 高剛性ハイパフォーマンスタイヤ/ 軽量19インチアルミホイール

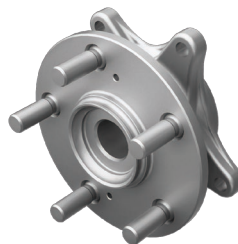
日常走行からサーキット走行までシビックTYPE Rの性能を最大限に引き出すためにタイヤとホイールを専用開発しました。タイヤの開発では、走り込みを重ね、コンピューター解析と実際の走行フィーリングをすり合わせながら限界性能の向上を追求。接地面積を最大限に確保するため、ワイドかつ大径の235/35ZR19サイズとしたうえで、ハイグリップなコンパウンド、ウェット性能を確保しながらブロック剛性の高いトレッドパターン、高Gに対応するケース剛性を実現しました。ホイールは特殊な鋳造製法を用いることで従来鋳造を上回る材料強度を確保。CAEによる最適な形状設計と合わせ、従来製法の鋳造ホイールに対して約10%の軽量化を実現し、路面追従性向上に貢献しています。



### 高剛性ハブ一体型ベアリング

サスペンションとホイールをつなぐハブはベアリング一体構造を採用。剛性を大幅に高めるとともに、部品点数の削減による軽量化も達成しました。リニアで剛性感のあるハンドリングや超高速域での走行安定性に貢献しています。

#### ■高剛性ハブ一体型ベアリング



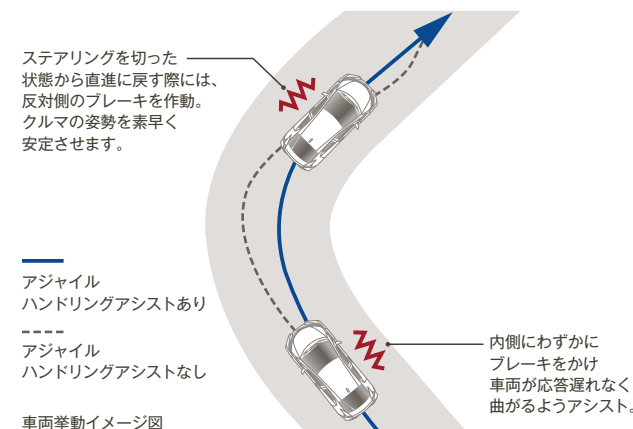
フロント：  
従来構造比 100%剛性向上



リア：  
従来構造比 20%剛性向上

### アジャイルハンドリングアシスト&VSA

シビックTYPE Rの高い旋回性能を活かし、より速くスムーズなコーナリングを実現するために、車両の横すべり時など限界領域で作動するVSAに加え、限界領域の手前で回頭性やライントレース性、緊急回避時の操縦性を高めるアジャイルハンドリングアシストを採用しました。操舵角や転舵速度からドライバーが意図する走行ラインを推定し、4輪のブレーキを独立制御して車両挙動をコントロール。ウェット時など低μの路面状態でも正確なハンドリングに貢献します。



#### ●VSA(TCS)介入領域イメージ

旋回中からコーナー脱出時のTCS制御は、BASEモードではライントレース性と加速性能をバランス。+Rモードでは介入しない領域を広げて加速性能を重視した設定にしています。

